

法親寺新聞

2025年
手書き新聞
No.58

少し身近なことを通して、仏さまのおしえを一緒にあげたいと思います。

先日あるご家庭で法事を終えたあと、ご主人がこう仰いました。「若いときは親父の言葉がうるさくて聞く気もせんかったけど、今になって「ほんまやっとなあ」と思うんです」と。

その言葉に私も母の口癖を思い出しました。「久に言われただけのことはすぐ忘れるけど、自分で苦労して覚えたことは身につくのですよ」と。若い頃は受け流していましたが、今になると本当にその通りだと思えます。

考えてみれば、仏さまのおしえも同じです。お釈迦さまが本(お経)を残されたのではなく、お弟子たちが「こう仰っていたなあ」と語り継いできたから、今日の私たちに伝わっているのです。

日々の暮らしの中で、親や祖父母の言葉を思い出すことがあります。その一言が今の自分を支えてくれていると気づくときがあります。仏さまのおしえも同じで、全部覚えていなくてもふとしたときに思い出せば、それが道しるべになるのです。そして今度は私たちが次の世代に伝えていく番です。難しい説教でなくてもいい。

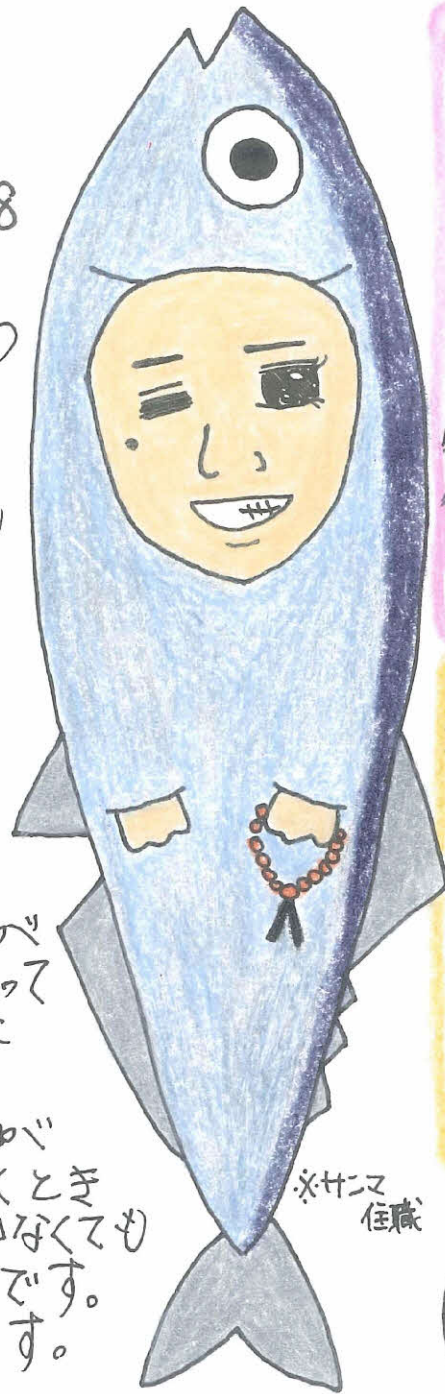
「おじいちゃんがよくこう言うとな」

「お母さんがこんなこと話してた」

そんな一言が子や孫の支えとなります。

どうか皆さんも、ご先祖や親からいただいた言葉、そして仏さまのおしえを心にとどめ、次の世代へと伝えていただければと思います。

住職 釋信哉



※サニマ 住職

2025年4月27日(日)
春季永代経法座



午前中に総代会・役員会を行い、午後から法事を筆力修いたしました。法要の後に住職の法話をご聴聞いただきました。

2025年6月5日(木)
法親寺仏教婦人会総会



お勤めの後、総会、住職の法話をご聴聞いただきました。正信偈の写経をし、穏やかな時間でした。

2025年5月12日(月)~5月13日(火)
第46回西本願寺念仏奉仕団・大谷本廟納骨参拝



奉仕団38名と、大谷本廟からの参加者17名の総勢55名のご門徒と1泊2日で西本願寺参拝、大谷本廟への納骨を行いました。国宝「阿彌陀堂」「御影堂」などの清掃、ご門主との記念撮影、ご聴聞、お抹茶のおもてなしなど、99人のご法縁をいただきました。ご奉仕や旅館での宿泊などを通じて、ご門徒同士の親睦も深めていただきました。

2025年7月21日(月)
盆法座



住職を導師として「仏説阿彌陀經」をお勤めし、住職の法話をご聴聞いただきました。

豆な知識コーナー

② 梵鐘(お寺の鐘)

元々お寺の鐘は、法要の始まりの合図や、時を知らせるために撞かれていました。時計がない時代に、夜明けと夕暮れを目安に撞かれていたようです。童謡にも、鐘が鳴ったら家に帰る有名な歌詞がありますよね。



おうどん あおぞら

今回ご紹介するのは庭瀬にある「おうどん屋さんです(´▽`)」今まで食べた中で一番のコシで、少し硬めのコシが強い麺が好きなお方にこそオススメなお店♪



↑ ふっかけうどん(冷) 530円



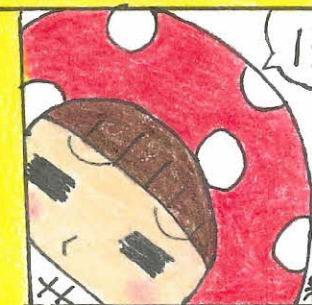
↑めんたい玉子丼 650円

岡山市北区庭瀬498-1 営業時間 11時~15時 美味しい♡
TEL 086-280-1711 定休日: 日曜日 駐車場あり

お知らせ

13時~です 秋季永代経法座

- 日時● 2025年10月26日(日)お車でお越しの際は隣接・新設・臨時の馬駐車場をご利用ください。
- 場所● 法親寺 本堂
- 講師● 住職



釋紗音

